

こども・若者が^{わかもの}中心^{ちゅうしん}となる、市^しの計画^{けいかく}

ふっつし けいかく
～富津市こども計画～

やさしい^{ばん}版



富津市こども計画は、こども・若者が主役となり、こど

も・若者一人ひとりの ^{わかものひとり}幸 ^{しあわ}せと育ちを ^{そだ}応援するまちを ^{おうえん}
^{めざ}目指すために、^{ふつつし}富津市が ^{つく}作る ^{けいかく}計画です。

富津市



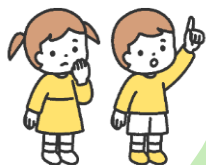
ふつつし けいかく 富津市こども計画～はじめに～



こども計画ってなに？

こども・若者のみなさんは、一人ひとりがとても大切な存在です。みなさんが、自分らしく 幸せに成長できて、暮らせるように、地域全体で支えていくことがとても重要です。みなさんやみなさんを支える人たちの目線に立ち、サポートし、すべてのこども・若者が、健やかに成長し、幸せな生活を送ることができる社会（こどもまんなか社会）を実現するために作る計画が「富津市こども計画」です。

※「こども・若者」とは生まれる前から29歳までの人のことを言います。



こども計画って、どのようにして作るの？

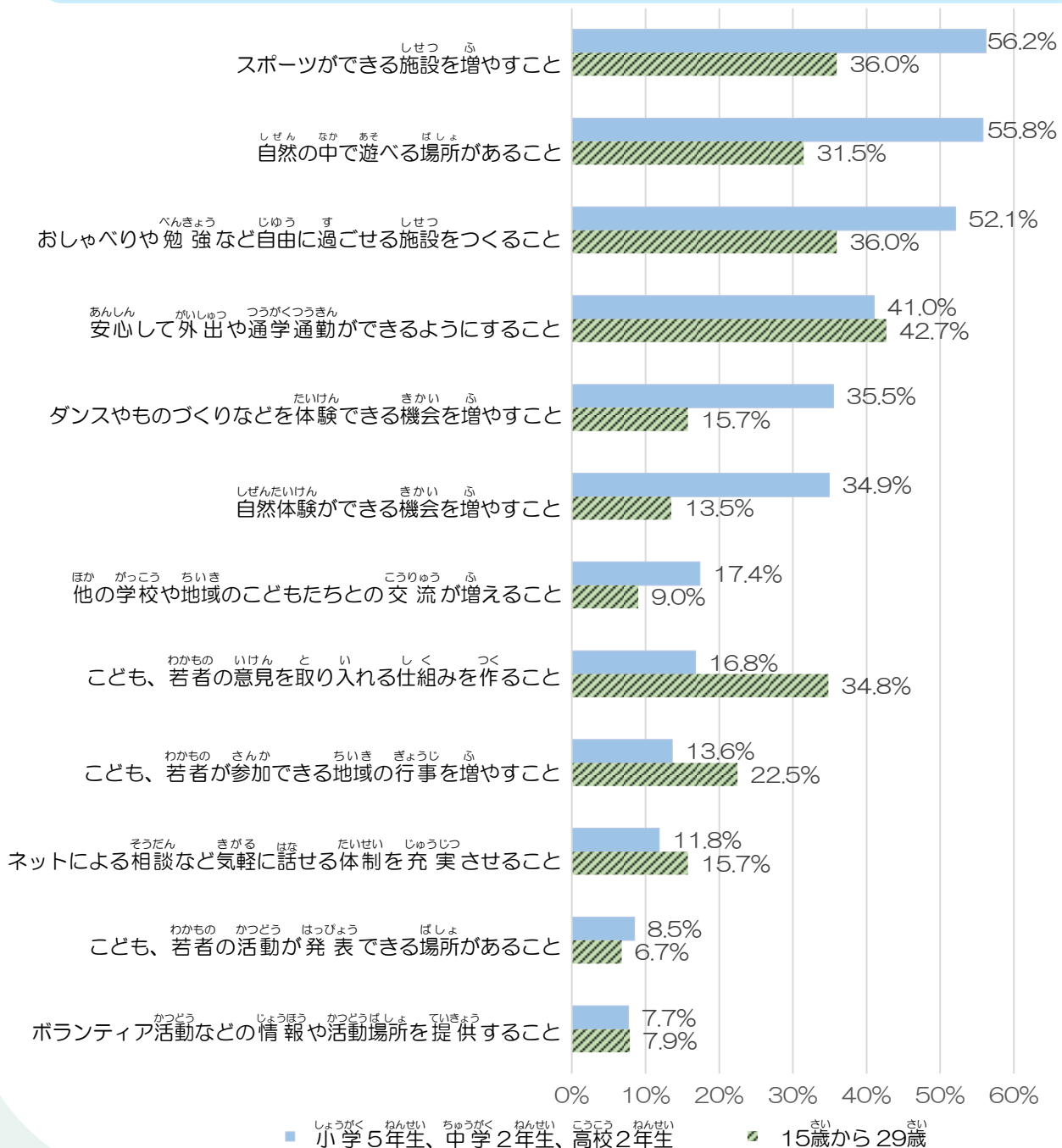
まず、みなさんやみなさんを支える人たちの意見を聴くことが大切です。富津市では、この計画を作るために、いろいろな年齢や立場の人にアンケート調査などを行いました。みなさんの声をもとに、富津市をどんなまちにしたいか、どのようにしたら「こどもまんなか社会」を実現できるのかを考えて、計画を作っています。



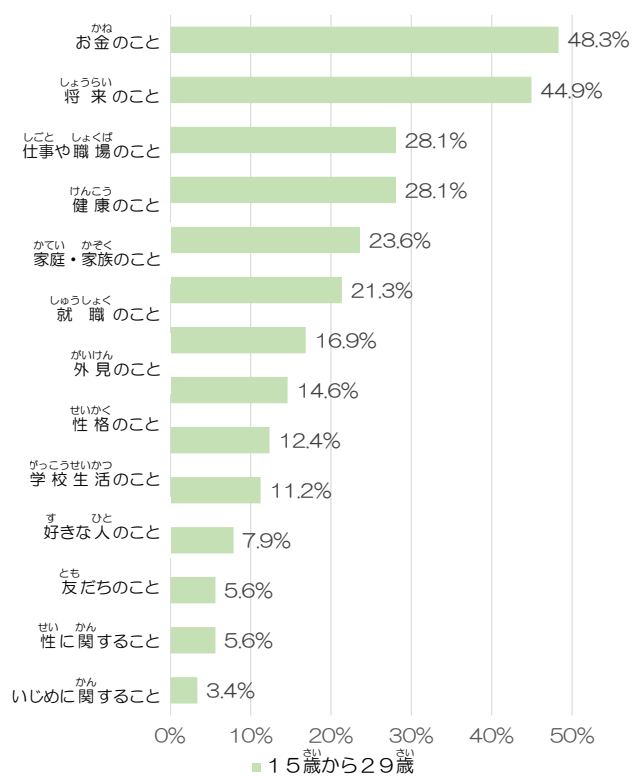
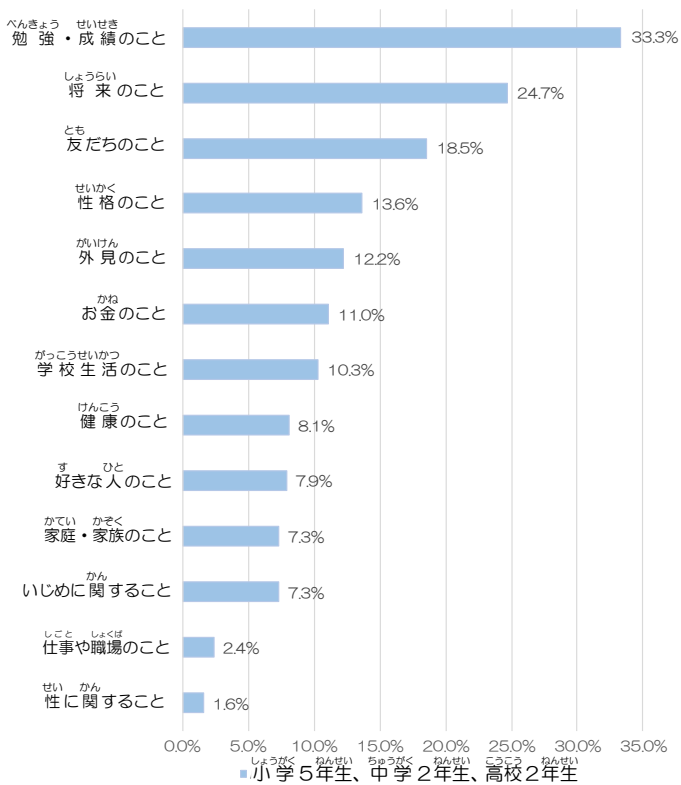
こども・若者の声～アンケート結果～

富津市では、こども・若者の意見を聴く取組の一つとして、「富津市こども計画」にこどもの意見を生かすために、2024年6月から7月にかけて小学5年生、中学2年生、高校2年生を対象にしたアンケートと15歳から29歳の方を対象にしたアンケートを行いました。回答にご協力をしてくれたみなさんありがとうございます。アンケート結果の一部を紹介します。

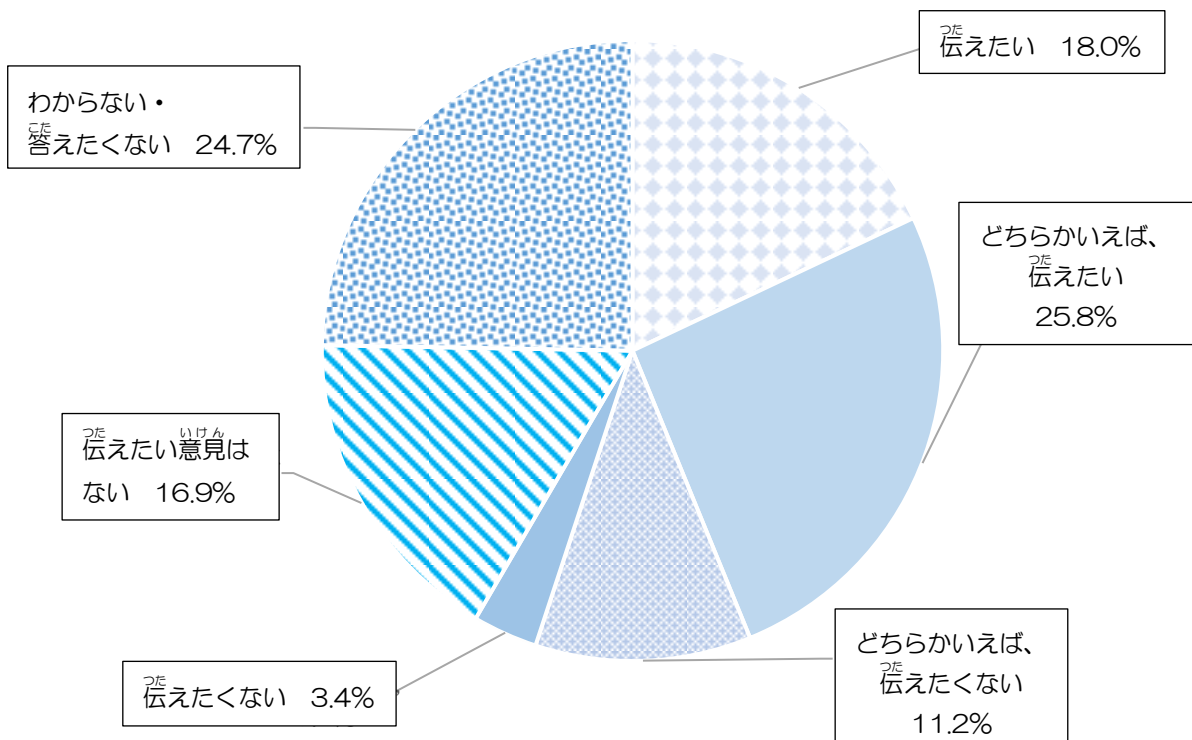
Q. 富津市に「あったらいいな」と思うサービス、これから力を入れてもらいたいサービスを教えてください。



Q. 富津市のこども・若者の気持ちについて～どんなことに悩んでいますか～



Q. 富津市にこども・若者に関する制度や政策の意見等を伝えたいと思いますか？
【こども・若者（15歳～29歳）】



ふ っ つ し わ か も の と り く み 富津市のこども・若者への取組

と り く み い ば し ょ あ そ ば た い け ん か つ ど う じ ゅ う じ つ 取組① 居場所・遊び場、体験活動の充実

アンケートの結果から最も多かった富津市にあったらいいなと思うサービスが、「スポーツができる施設を増やすこと」でした。また、「自然の中で遊べる場所があること」、「おしゃべりや勉強など自由に過ごせる施設をつくること」があったらいいなと思う回答や様々な体験活動ができる機会や場所があるといいなといった回答もありました。

け い か く い け ん い こども計画では、みなさんの意見をこのように生かします！

富津市にある施設や場所を活用して、いろいろな年齢のこどもたちが、安心して過ごせる居場所を充実させていきます。

と く こんなことを取り組みます

- ・公園、学校施設などの富津市にある施設の有効利用。
- ・スポーツ活動の推進。
- ・富津市の自然、歴史、社会の豊かさを活用した、市の魅力を伝える。

ば し ょ こんな場所があります

- ・公園 40か所
地域のみんが自由に楽しみ、こどもたちが外遊びできる身近な場所です。
- ・スポーツ施設 4か所
野球場や体育館など、みんなでスポーツ出来る場所です。地域のスポーツ大会なども行われています。
- ・学校施設のグラウンド、体育館 11校
学校のグラウンドや体育館をみなさんに貸し出しています。
- ・図書館（イオン富津内）、公民館（富津公民館・中央公民館・市民会館）図書室
令和5年4月1日に新しくオープンした図書館をはじめ、公民館の図書室があります。この他にも移動図書館や、電子図書館もあります。

とくみ 取組② あんしん す 安心して過ごすことができるまちづくり

アンケートの結果で、次に富津市にあったらいいなと思うサービスで多かった回答は「安心して外出や通学通勤ができるようにすること」でした。また、ネットによる相談など気軽に話せる体制を充実させてほしいといった回答もありました。



けいかく 計画では、みなさんのいけん 意見をこのようにい 生かします！

- 身近な地域で、子どもたちが安心して過ごせるような環境を整えていきます。
- 市役所には、いろいろな相談ができる「こども家庭センター」があります。子どもたちが安心して生活できるように、こどもの身近にある組織や大人が協力して、こどもや子育て家庭を支える仕組みを作っていきます。また、困ったときに相談できたり、必要な手助けが届くようにします。

こんなことを取り組みます

- 地域こども見守り活動、通学路対策協議会など
- SNSや相談メールなど、子どもたち自身が相談・支援につながるができる環境づくり



あおほりしょうがっこう 青堀小学校 マスコットキャラクター 「アオリー」



いいのしょうがっこう 飯野小学校 マスコットキャラクター 「いいのっこちゃん」

とくみ 取組③ こども・若者の思いや声を聴き、生かしていく取組

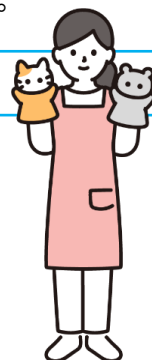
こども・若者のみなさんは、一人ひとりが、地域やまちの大切な一員です。みなさんの声を聴いて、地域やまちをより良くしていくことが富津市役所の大事な役目です。みなさんの身近な場所や取組で、みなさんの思いや考えを聴いて、それを生かしていきたいと考えています。みなさんの思ったことや、疑問など、ぜひ言葉にして伝えてください。様々な機会に声を届けてもらえるよう、富津市全体で取り組んでいきます。

けいかく 計画では、みなさんの意見（いけん）をこのように生かします！

- こども・若者の年齢（ねんれい）やそれぞれの成長（せいちょう）に合わせて、思いや声を伝えやすいよう工夫（くふう）し、こどもたちが未来（みらい）に希望（きぼう）を持って毎日（まいにち）を楽しく過ごすことができる富津市（ふつつし）になるように、その意見（いけん）が大切に生かされる仕組み（しくみ）を作ります。

こんなことを取り組みます

- 実際に取組（とくみ）を利用している人（ひと）へのヒアリングやワークショップ
- 取組（とくみ）に関するアンケート
- イベントなどでの発表（はっぴょう）や話し合い（はな あ）など



さぬきしょうがっこう 佐貴小学校 マスコットキャラクター 「ケーロー」



あまはしょうがっこう 天羽小学校 マスコットキャラクター



あま 天ちゃん・羽くん

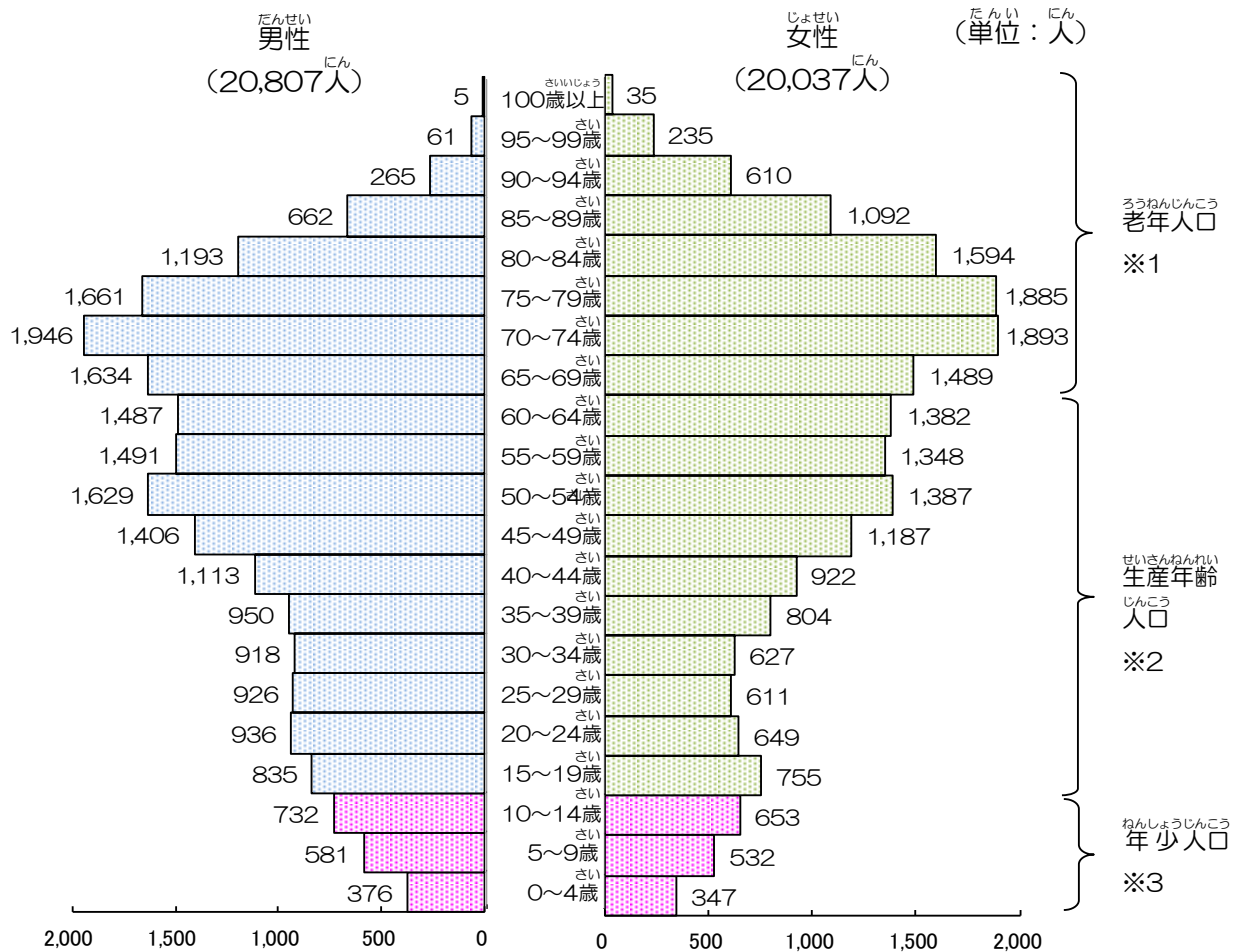
富津市の現状と課題

1 富津市の人口、子ども・若者の人数

●富津市の人口は10年間で約13%減って、令和5年時点で約4万人です。

●富津市の0歳から14歳の人口の割合は、平成27年から富津市の人口の1割未満となっています。

●令和6年の富津市の総人口40,844人の内、0歳から14歳の人口は3,221人です。



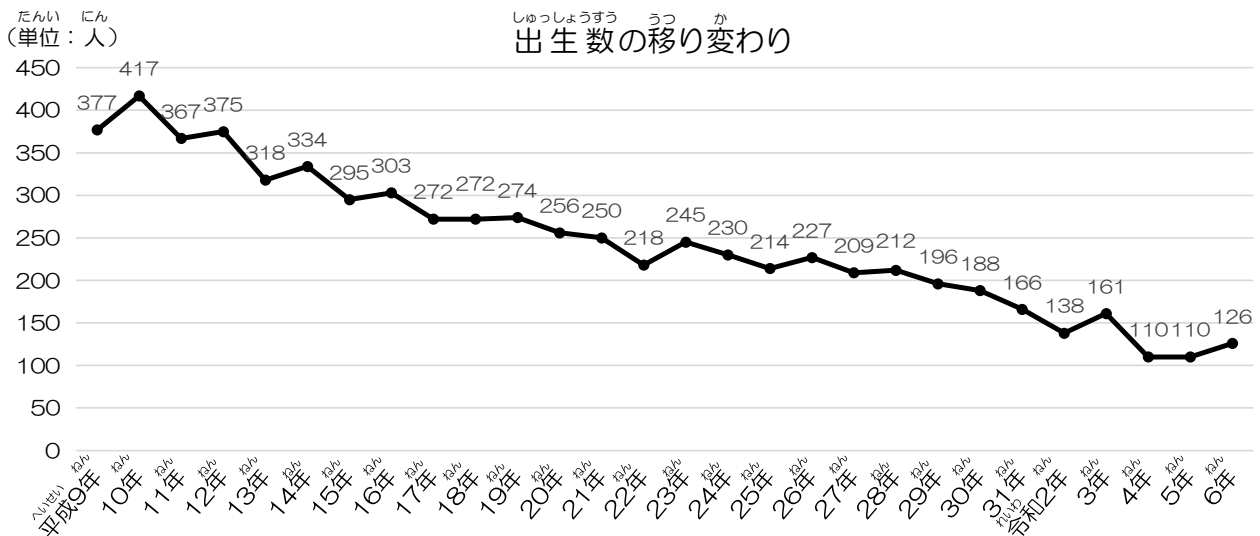
資料：住民基本台帳（令和6年3月31日現在）

※1 老年人口・・・65歳以上の人の数

※2 生産年齢人口・・・15歳から64歳までの人の数（社会での労働（生産活動）を担う世代）

※3 年少人口・・・0歳から14歳までの人の数

●富津市の出生数（産まれた赤ちゃんの人数）は減ってきています。



資料：千葉県総合企画部統計課「千葉県毎月常住人口調査」

2 こども・若者を取りまく状況

●障がい：令和5年度にこどもの障がいについての相談を約1,000件受けています。

●児童虐待：児童虐待の対応件数は毎年40件台を推移しています。令和5年度の対応件数は45件となっています。

●不登校：不登校の人数は毎年増加傾向にあり、令和5年度では、市内小中学校に在学しているこどもの内、119人が不登校となっています。

●悩み：悩みがある人の中で、勉強・成績のことで悩んでいる人が最も多くなっています。また、こどもから大人に近づくほど、将来のことに対する悩みやお金に対して悩んでいる人が増えています。

●つながりの喪失：家族のお世話をするために、学校や仕事に行けなかったりすることも、若者や、1年以上外出していない若者がいます。

富津市こども計画をもっと知りたい人へ

基本理念～富津市が目指すまちの姿～

次代を担うこどもたちが健やかに育つまち
こどもたちの笑顔があふれるまち ふつつ

なんでこの基本理念にしたの？

みなさんが夢と希望をもって、元気に育ち、将来に渡って、笑顔が
いっぱい富津市にしたいという思いから決めました。

基本視点

富津市がめざすまちに向けて、計画を作るときに大切にしている視点です。

- 1 こども・若者みんなの視点
～みんなが幸せに生きるために～
- 2 生まれる前から幼稚園・保育園までの視点
～これから生まれる、これから生きるために～
- 3 小学生から中学生までの視点
～自分らしく、みんなと生きるために～
- 4 高校生から若者までの視点
～夢や希望を持って生きるために～
- 5 子育てする人の視点
～こどもと安心して生きるために～

5つの基本視点に対してこんな基本施策に取り組んでいきます！

基本視点1 こども・若者みんなの視点

①こども・若者が自分自身の権利を持っていることを社会全体に知ってもらうこと

こどもや若者が、安心して意見を言うことができる機会をつくり、その意見を多くの人たちに伝え、市の取組に反映できるように取り組んでいきます。

②社会を生きぬく力を育てること

全てのこども・若者が夢と目標を持ち、自信を持って他者や社会と向き合いながら生きていくための力を育てることに取り組んでいきます。

③こどもや若者がいつでも誰でも、怪我、病気や心身の不調に対応してもらうこと

こどもや若者とその家族みんなが、心も身体も健康な生活を送ることができる切れ目のないサポートができるよう取り組んでいきます。

④こどもや家族がお金のことで困らないようにすること

様々な理由でお金のことに困っていることを理解し、地域の人たちなどが支え合えるようなしくみづくりに取り組んでいきます。

⑤障がいのあるこどもや医療が必要なこどもへのサポートなど

障がいのあるなしや心や身体の状態にかかわらず、みんなが安心して暮らし、それぞれが活躍できるような地域づくりに取り組んでいきます。

⑥こどもが誰からも守られる家庭や地域づくり

こどもが虐待の被害にあわないように、保育園や学校、支援団体そして市が協力して取り組んでいきます。また、虐待されたこどものケアも強化します。

⑦家族のお世話をすることもこどもへのサポートなど

家事や介護などの家族のお世話をするヤングケアラーといわれるこどもに対して、日常生活や学校生活のさまたげにならないようにサポートしていきます。

⑧こどものいのちを守ること

全国的にこどもの自殺が増えつつあります。こどもの変化に早く気づける取組やどんなことでも相談できる場所や機会をつくっていきます。

⑨犯ざい・事故・災害からこども・若者を守ること

いつ、だれに起こるかわからない犯ざいや事故からこども・若者を守ることに、また地震や水害などの災害にも安心できるような備えや体制づくりに取り組んでいきます。

⑩誰もがお互いに違いを認め、自分らしく生きていける社会をつくること

周りには、年齢、性別、障がいのあるなし、国籍や生活習慣など様々なちがいを持つ人たちがいます。それぞれのちがいを尊重しながら、互いに自分らしく活躍できるように取り組んでいきます。

基本視点2 生まれる前から幼稚園・保育園までの視点

①生まれる前から幼稚園・保育園までの切れ目のなく医療などが受けられること

こどもが生まれる前から母親とその家族が安心して暮らし、生まれた後も引き続き安心して相談や医療などのケアが届くよう、切れ目ないサポートをします。

②生まれたときから幼稚園・保育園まで安心して成長できる取組について

こどもがどんな家庭や地域であっても、不安なく安心して成長できるしくみや体制づくりに取り組んでいきます。

基本視点3 小学生から中学生までの視点

①こどもたちの自信を育む教育の土台作り

こどもにとって、学校が安全に安心して過ごしなが、多くのこどもたちと関わりながら育ていける成長の場所となるよう取り組んでいきます。

②安心できる居場所づくり

こどもたちが誰もがお互いを認め、みんなが安心して、自分らしく過ごせるような居場所を増やしていけるよう取り組んでいきます。

③心身の健康等についての情報提供やこころのケアの充実

こどもが心も身体も健康に育つように正しい知識を発信し、いつでも相談できる場所と機会を通じてサポートできるよう取り組んでいきます。

④いじめをなくすための取組

こどものいのちや心、身体にも大きく影響するいじめをすること、されることのどちらもなくなるよう取り組んでいきます。

⑤不登校のこどもへのサポート

様々な家庭の事情やこどもの状態によって、学校に通うことができなくなっても、すべてのこどもが教育を受けることができるような体制づくりに取り組んでいきます。

基本視点4 高校生から若者までの視点

①高校の進学へのサポートなど

家庭がお金に困るような状況であっても、こどもが希望する高校や大学に進学できるようなサポートを行います。

②安心して暮らせるような就職へのサポートなど

こどもたちが、将来に希望を持てる仕事に出会えるようなサポートに取り組みます。また、起業のためのサポートにも取り組みます。

③結婚したい人や結婚して生活する人へのサポート

結婚をしたいと思う若者に対するサポートに取り組みます。また、結婚した若者が不安なく生活できるようなサポートにも取り組みます。

④悩みごとや不安がある若者や家族がすぐに相談できるような取組

進学や就職、学校や職場での人間関係など、若者が抱える悩みや不安に向き合う場を用意し、次の一歩を後押しできるようなサポートに取り組みます。

基本視点5 子育てする人の視点

①子育てや教育に対してお金のことで困らないようにすること

家庭の事情によって、子育てにかかる教育や医療の費用への負担を軽くして、こどもが希望する進学ができるようにサポートします。

②こどもが暮らす地域や家族の子育てへのサポート

子育てへの関わりが母親や父親などの家族だけでなく、近所などの地域で支えることができるような取組を進めていきます。

③共働きをしやすいことや男性の子育て参加を広める取組

男性も積極的に子育てに参加し、夫婦がお互いに協力して子育てに関わり、地域でも支えることができるように取り組んでいきます。

④ひとり親家庭へのサポートなど

ひとり親家庭が抱える様々な課題に対して、生活のこと、子育てのこと、また、親の仕事に関することなど、家庭の状況に応じたサポートを行います。

なや そうだんまどぐち あんない お悩み相談窓口のご案内

ふつつし では、でんわ まどぐち そうだん い がい、メールでの相談も 行 っています。
まどぐち い よゆう かた ちよくせつはな こわ だれ み
窓口に行く余裕がない方、直 接 話すのは怖い、誰かに見られたらいやだな、
でんわ だれ き しんぱい かた かつよう
電話だと誰かに聞かれるかもなど心配がある方は、活用してみてください。

ふつつし そうだん 富津市「いじめ相談メール」

がっこう うち とも なや そうだん
学校やお家、友だちのことで悩みがあったら、相談してください。

<https://www.city.futtsu.lg.jp/cmsform/enquete.php?id=14>



り ようほうほう 1. 利用方法

じょうきに じげん にゅうりよく いどう ひつようじこう
上記二次元コードなどから、入 力 フォームに移動し、必要事項を
にゅうりよく そうしん
入 力 し、送信してください。

たいしょうしゃ 2. 対象者

ふつつし す しょう ちゅうがくせい ほごしゃ
富津市に住んでいる小・中学生およびその保護者

うけつけ 3. 受付

いつでも受付しています。ただし、返信につきましては、ど にち しゅくじつ
ねんまつねんし のぞ じゅしんご にちいない めやす
年末年始を除き、受信後3日以内が目安です。

と あ さき 4. 問い合わせ先

ふつつしきょういくいいんかい きょういく でんわばんごう
富津市教育委員会 教 育 センター 電話番号 0439-80-1346

でんわそうだん おこな へいじつ
※電話相談も 行 っています（平日9：00～16：00）

ちゅういじこう 5. 注意事項

つうしんりょう そうだんしゃ ふたん
通 信 料は相談者のご負担となります。

スマートフォン等を所持することを奨 励 するものではありません。

子育ての話 なんでも聞きます窓口

自分のこと、お母さん、お父さんのこと、こどものことで、相談に乗ってほしい、話を聞いてほしい。そんなときはこの窓口へどうぞ。

<https://www.city.futtsu.lg.jp/0000004950.html>



1. 利用方法

上記二次元コードなどから、Webページにアクセスしてください。
Webページ内に掲載しているメールアドレス宛てに、相談したいことを入力し、送信してください。

2. 対象者

富津市に住んでいるこどもとその家族や親せき、妊婦の方

3. 受付

いつでも受付しています。ただし、返信につきましては、土・日・祝日・年末年始を除き、受信後3日以内が目安です。

4. 問い合わせ先

富津市役所 子育て家庭課 電話番号 0439-80-1221

※メール相談の他に、窓口相談・電話相談・出張相談を行っています。ご希望される方は、メールにその旨を記載してください。

5. 注意事項

通信料は相談者のご負担となります。

相談の内容によっては、他の相談窓口と連携することがあります。

これ以外の相談窓口については、「富津市子育て応援ガイドブック」に掲載しています。「富津市子育て応援ガイドブック」については、巻末をご覧ください。

さらに^{けいかく}計画や^{とりくみ}取組を^し知^{ひと}りたい人へ

^{ふつつし}富津市^{けいかく}こども計画をもっと^し知^{ひと}りたい！

^{ふつつし}富津市^{けいかく}こども計画 ^{けいさい}掲載ページ ^{ユーアールエル}URL

<https://www.city.futtsu.lg.jp/0000007967.html>



^{ふつつし}富津市の^{こそだ}こども・^{とりくみ}子育ての^し取組を知^{ひと}りたい！

^{ふつつし}富津市^{こそだ}子育て^{おうえん}応援ガイドブック ^{けいさい}掲載ページ ^{ユーアールエル}URL

<https://www.city.futtsu.lg.jp/0000006612.html>



^{とりくみ}取組の^{ほか}他にも^{じどうゆうえんち}児童遊園地や^{あそ}こどもの^ば遊び場など^{おやこ}親子での
おでかけに^{ばしょ}おすすめの^{けいさい}場所も^し掲載しています！



^{ふつつし}富津中学校 マスコットキャラクター 「^{とみすけ}富助」



^{おおさわ}大佐和中学校 マスコットキャラクター 「^{おおさわ}大佐ワン」

お問い合わせ

^{ふつつし}富津市 ^{けんこうふくしぶ}健康福祉部^{かていか}こども家庭課
〒293-8506 ^{ちば}千葉県^{ふつつし}富津市^{しもいいの}下飯野^{ばんち}2443番地
^{でんわ}電話:0439-80-1256
ファックス:0439-80-1350

